

第7回米原市定例教育委員会

日 時：平成24年7月12日
午後1時00分開会
場 所：西部給食センター
2階 会議室

(出席者)

教 育 委 員：稲村委員長 河居委員長職務代理者 堀田委員 小路委員
瀬戸川教育長

教 育 部 長：川幡部長

教 育 総 務 課：岩脇課長 山田課長補佐

学 校 教 育 課：中島課長

生 涯 学 習 課：山田課長

こ ども元気局：坪井局長

東部給食センター：西村所長

図 書 館：小北館長

書 記：田 中

1 委員長あいさつ

- 保育園・幼稚園の訪問で意見交換等を行いました。園の職員の雰囲気は自然と子どもたちにも反映している感じがしました。本年は、幼小連携についてというテーマをいただいていたのですが、実際は例年のように訪問で感じたことの意見交換で終わっています。その辺はこども元気局でまとめていただきたいと思います。
- 山東幼稚園、いぶき認定こども園あたりでチーム保育という話を聞かせていただいて色々勉強させていただきました。保育園・幼稚園では子どもが部屋にじっとしているわけではなく、当然ながら1人の先生で子どもを見るのではなくチームという体制が必要だと思いました。その辺の話は園長会などで意見交換していただき、定着していただけたらと思います。
- 大津市のいじめ問題については詳しいことはまだわかりませんが、教育委員会、学校、子どもも含めて大変な状況になっているのではないかと思います。1学期末のこの時期に各学校での振り返りをさせていただいて、夏休み中に個別に対応していただかなければならないことは対応していただきたいと思いますし、保護者の不安についても考えざるを得ないと思います。いじめと遊びの違いを見抜くのは難しいですし、いじめを許さない雰囲気作りや子どもの悩みを調査して学校として如何に集約するか、気になる事象をあげて学校の生徒指導委員会で話題にする等、学校で対応するシステムをきちんとして

いただくと早く解決できます。米原市においては大津市のようなことが絶対にないように学校の方へ指導していただかなければならないと思います。

2 事務局からの報告

【教育総務課より概要説明】

【学校教育課より概要説明】

【生涯学習課より概要説明】

【こども元気局より概要説明】

【給食センターより概要説明】

【図書館より概要説明】

委員：坂田小学校の校区の変更は難しいという話ですが、校区を変更するという方向性をあきらめるわけではないですね。

事務局：基本的に難しいと思っています。26年度に教室が不足するのは明らかで、今年度から正式に取り掛からないと坂田小の問題は解決できません。とりあえずこの問題については、増設という形の中で考えていかなければならない。時間的に余裕がないため、事実上断念せざるを得ない状況です。教室、トイレ、放課後児童クラブの問題も同時に解決していかないといけないので、早急に案を出したいと考えています。最低でも4つの教室が必要でないかと考えています。

委員：醒井小学校の教室が小さくて、息郷小学校の生徒が一緒になったときにキャパシティが足りないように聞いていますが、何か改良をされますか。

事務局：醒井小学校の教室そのものの大きさが特に小さいわけではありません。受け入れる人数分の机を配置して様子を見てみましたが、十分授業もできます。ただ、今までの広いスペースからすれば見た目には狭いと感じると思います。不足している特殊教室については、部屋を改修して充てるようにしたいと考えています。

事務局：来年は教室が足りないんです。

事務局：空いているプレイルームを間仕切りして、足りない教室に充てていきたいと思いません。

委員：結核対策委員会とありますが、結核感染者はあるのですか。

事務局：現在、結核を疑われる子どもがいます。外国から帰ってきた子が感染率が高く、経過観察が4名いました。

委員：坂田小学校の校区の変更は、先の見通しが全くないのですか。

事務局：学校の統廃合だと少々の反対でもいけますが、校区の変更は難しいです。以前、顔戸は息長小学校区だったのが、途中から坂田小学校が少ないからと校区を変更させてもらった経緯があるので、また息長小学校へ変更となると振り回すこととなります。それに新興住宅街の扱いが難しいです。新興住宅街はバイパス沿いで坂田小学

校に近い位置です。変更するなら新興住宅街も含めてという話なので、それだと今度は逆に息長小学校があふれてしまいます。そこまで言われると断念せざるを得ないと思います。

事務局：バイパス沿いの新興住宅街は顔戸区の自治会に加入しておられます。その位置からは坂田小学校が見える距離です。息長小学校へ変更となると通学距離が2倍から3倍に伸びます。その地域については新しい自治会がすでに3つくらいあります。その自治会も話をまとめて息長小学校へ変更となると通学バスを用意する必要があります。見える距離に学校があるのに遠い学校へ送るとなると、いろんな問題が発生するのが目に見えております。顔戸区の役員会でもどこからどこまでの地域を息長小学校区に入れるのかというラインを示さないと住民への説明も難しいとの意見でしたが、そのラインは非常に決めにくい状態です。

3 議題

議案第35号 米原市立息郷小学校・醒井小学校の統合による学校名の選定について

【教育総務課】

事務局：一番得票が多かったのは「河南（かなん）」です。保護者から出た意見として、いずれ河南中学校が無くなるかも知れないから「河南（かなん）」の名前を残して欲しいというものでした。「河南」というのは天の川の南側、私たちの所は「山東」で、近江と長浜地区の3つに旧坂田郡が大きく分かれていました。そういった経緯から「河南」は深くなじんできたという意見でした。「米原東」は、旧米原町なら東ですが、米原全体で見ると柏原が東にあるので、「中央」になってしまいますし、「天の川」も良いのですが、醒井地区の人にはなじみがありますが、息郷地区の人にとってはあまりなじみがない。「清流」は全体のイメージですが、できれば地名を入れておいた方が良いのではないかと思います。一番合っていて無難なのは「河南」。平仮名で「かなん」もありましたが、漢字にしてほしいとのことでした。

委員：学校名は統合されるときにいろんな意見が出るものですが、最終的には地名が多いですね。地名の方がどこの地域の学校か分かるので良いのかもしれないね。「清流」というのは、どこの学校なのか、米原市のイメージには結びつきにくいので、はずしてはどうでしょうか。「清流」のイメージは校歌等で表現していただけないでしょうか。

事務局：「天の川」や「霊仙」は、校歌等で入れられると委員さんがおっしゃっておられました。

委員：「米原東」は、旧の米原町だけではないので、米原市全体として見ると、しっくりしません。「河南」は、地域住民に受け入れられやすい学校名との意見が書かれています。

すね。

委員：将来的に河南中学校がどこかの学校と統合することも見据えて、地域の方が名前を残したいと考えておられるので、最終的に4つの中から選ぶなら「河南」が無難だと思います。

委員：河南部の運動会は、息郷、醒井、米原、入江、坂田、息長でやっていた記憶があります。「河南」が醒井と息郷の両方の方の立場からすると無難ではないかと思えます。子どもと大人の希望が最も多いのが「河南」なので、私は「河南」が良いのではないかと思います。

委員：候補名の資料に書かれているように、1つ目は、地域住民になじみが深い。2つ目は、中学校と同一名にすることで「小中連携」。3つ目は将来の河南中学校の統合の可能性を考えて河南の名前を残したい。4つ目は今日の話に出た、昔の運動会で米原地域を「河南」と呼んでいたところからなじみがある。そして校名の応募状況、特に子どもの応募で「河南」が多かったということから、教育委員会としては「河南小学校」に決めさせていただいたということでしょうか。他の視点は何かありますか。

～意見なし～

委員：昔からの地域の名前で親しみやすく、4つの案の中では、「河南」が最もふさわしいという結論にさせていただきたいと思えます。

～満場一致で「河南」に決定～

議案第36号 後援等名義使用承認について

【協議案件】

- 大トリックアート展 【教育総務課】
- 絵画展 【生涯学習課】

【報告案件】

- 社団法人長浜青年会議所「湖北コア・イノベーション構想」推進事業 【教育総務課】
- 第49回教育者研究会 【学校教育課】
- MOA美術館湖北児童作品展 【学校教育課】
- 滋賀県次世代創造発信事業 邦楽・邦舞キッズワークショップ 【生涯学習課】
- 伊吹山音楽祭2012 【生涯学習課】
- 平成24年度文化庁「優れた劇場・音楽堂からの創造発信事業」 【生涯学習課】
- 第16回邦楽演奏会 【生涯学習課】

後援承認

委員：ちょうど1学期末なので、夏休みに緊急の校長会を開いていただいて、指導する場を設定するよう検討してはどうですか。

事務局：ちょうど7月30日に市内の校園長会議がありますが、それ以前に緊急対策会議があれば資料として提案させていただきます。

委員：これだけ全国的な騒ぎになっているので、保護者の方との懇談会や字の懇談会で学校に対する質問が出るのではないのでしょうか。学校としての取組をきちんと回答できるようにしておいてください。

事務局：いじめに関するアンケートを実施して、できるだけ早くまとめ、教育委員会に報告しなくてはならないと考えています。

委員：職員会議で担任に問題がないか言わせ、学年主任が統括して生徒に関する情報交換をする。子どものいろんな悩みに対応できる窓口を作る。全体的にいじめは絶対許さないという空気、人権感覚、学校全体で取り組んでもらう。少年センターや警察等の関係機関とも連携をする。学校としてこういう指導をしているということが、きちんと言えなければならないと思います。

事務局：いじめに関する投書があるということは、逆にまだ先生、学校を信頼してくれているとも考えられます。真実はまだ分かりませんが、注意しながら対応を進めていかなければならないと考えています。

委員：7月30日の校園長会議でも、先輩校長のいじめ問題についての経験談を話してもらってはでしょうか。

事務局：幼・小の連携でも、どのような取組をするかということで、小さい子は保護者の指導ということになりますし、そういったことも柱の一本に加えて対策を考えなくてはならないと思います。

委員：いじめがあることを前提で取り組んだ方が良いと思います。先生や親に打ち明けられない状態の子もいると思いますので、学校だけでなくスポーツ少年団等の他の団体でもいじめの兆候や情報があれば協力していただくよう要請しておいた方が良いのではないかと思います。今は、どういった経路でいじめに関する情報が入ってくるのですか。

事務局：昨年度の傾向として教育委員会へ直接電話してくださるケースが非常に多くありました。学校へ言っていただいた方が良いことも直接教育委員会へ連絡されることが多かったです。

委員：学校へ言うより教育委員会へ言った方が良いと考えておられるのでしょうか。

事務局：市の教育委員会へも言われますし、県の人権の方へ直接言うておられる方もあります。

委員：子どもの人権110番というのがあり、たくさん電話がかかってきます。それからS

OSのミニレターということで悩みをハガキに書いて法務局へ送るようになっていきます。そして長浜協議会の委員が返事を書くようになっていきます。これは人権擁護の関係の子どもの窓口相談です。

委員：毎年9月1日に、中学校3年生の子達に悩み相談窓口の電話番号を書いたしおりを配っています。この資料の投書は「柏原の今の2年生の状況です」という話なので、去年も何かあったのではないかと思います。

委員：投書に書かれている話のいくつかは、皆さんも経験されているのではないのでしょうか。やられる立場とやる立場、どこからエスカレートし出すのか、どこでいじめと見破れるのか。視点を変えて別な気持ちで見ること、子どもたちの目を変えていくのも大事だと思います。今回のテレビ報道を見ていると責められても仕方がない部分も感じられますので、ああいう形にはならないようにと思います。

委員：米原市の状況をお聞きして非常に有意義だったと思います。大津市の事件がどのようになっていくか分かりませんが、少なくとも教育委員会のことは教育委員会で判断していかなければならない状況になってきたと考えています。米原市でも臨機応変な対応をしていかなければならないと思います。

4 その他

○ こども市議会について

【こども元気局】

委員：こども市議会の参加は、小学校は6年生からということですね。

事務局：小学校は最高学年のみ、中学生は全学年でそれぞれ2名です。

○ 図書館・図書室に関するアンケート集計結果報告について

【図書館】

次回

第8回定例委員会 8月20日（月） 午後2時00分～
ルッチプラザ 2階 研修室

以上をもって 第7回定例教育委員会を午後3時25分に終了した。